

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第5回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）9月14日（水）14：00～15：30

場 所 市役所3階 特別会議室（オンライン併用会議）

出席者 <まちづくり協議会>

（対面参加者）

仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長

宝塚市光明地域まちづくり協議会 小林 敏明副会長

宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長

まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表

宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表

宝塚小学校区まちづくり協議会 森田 大和副会長

売布小学校区まちづくり協議会 村井 照幸副会長

安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長

宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ代表

（オンライン参加者）

宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長

宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長

宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長

逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長

小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長

宝塚市美座地域まちづくり協議会 糸瀬 豊光代表

宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦会長

中山台コミュニティ 松下 義弘会長

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 三島 基道会長

<その他>

市民交流部 浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他

宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏

宝塚市社会福祉協議会 前菌課長

傍聴者 なし

議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第4回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。

- 2 地域ごとのまちづくり計画
 - (1) 地域ごとのまちづくり計画の「対話」「進捗管理」の仕組みにかかるアンケート（令和3年度実施）結果報告
市民協働推進課より、アンケート結果の概要について説明があった。
 - (2) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告
市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。
宝塚市良元地区まちづくり協議会の推進シート、まちづくり協議会コミュニティ未広の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった後、以下のとおり意見交換が行われた。
 - ア 良元の推進シートについて、10月に開催予定の意見交換会（説明会）は小林駅周辺の他のまち協からの参加も予定しているか。
 - イ （市）今回は、小林駅周辺以外のテーマについても対話することになっているため、宝塚市良元地域まちづくり協議会と関係課のみになる。結果は対話シートで共有する。
 - ウ 周辺の他のまち協とはどう調整するのか。
 - エ （市）共有された対話シートを見たうえで、私達も対話がしたいというまちづくり協議会があれば、改めてご提案いただければと考えている。

- 3 地域活動のデジタル化
 - (1) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の用途
市民協働推進課より、配布資料に基づき、上記申請状況の報告があった。新たに申請書の提出のあったまちづくり協議会分も含めた事業計画書等が共有された。以下のとおり、該当のまちづくり協議会から報告があった後、質疑応答を行った。
 - ア 報告
 - (ア) 【宝塚第一】令和3年1月からオンライン会議は実施しており、40分の時間制限があるもの（無料アカウント）を使用していた。日頃からLINEとメールを活用しており、機器自体も持っているの、補助金をどう活用するのか中々検討が進んでいない。現在は、宝梅ハウスについて、ネット環境のサブスクリプションを若手5人が進めており、情報を役員全員が見れるシステムにしよ

うと思っている。

- (イ) 【ゆずり葉】 スロースターターである。役員会ではzoomを活用できていないが、五役会ではzoomとLINEを活用中。少しでも基礎知識を身につけたほうが良いのではとオンライン勉強会を立ち上げて誰でも参加できるようにしている。スマホしか使えない、zoomの知識が乏しい人に少しでも勉強してもらえれば次のステップに移りやすいと、NPOセンターを講師に迎え数回開催している。補助金の申請は完了している。
- (ウ) 【宝小】 2回ほど勉強会を開催した。すべてがこれからだと思う。
- (エ) 【売布】 zoomはコロナが始まった頃から利用している。大型モニター、Wi-Fiも役員会で活用し、忙しい人や動けない人はzoomで参加している。各部会は対面が多いが、役員会は外部に声を掛けていることもあり、参加しやすいようzoomを併用している。売布会館でWi-Fiを使えるようにし、自治会や公共の利用者は無料、営利の利用者は有料で利用料を徴収する予定である。タブレット活用はまだこれから。
- (オ) 【小浜】 申請書を提出した。宝塚NPOセンターから（オンライン会議の）講習を受けている。Wi-Fiも通っているが、使い方が分からない。まずは役員がマスターしようと思っている。
- (カ) 【安倉】 拠点が狭く、大型機材は難しいため、本部がどういった活動をしているのかを住民にHPで情報発信していこうとしている。住民向けにスマホ等の講習会（どうすればインターネット上で情報を見ることが出来るか等）をしようと思っている。
- (キ) 【ひばり】 令和3年度にきずなづくり補助金を活用し実施した講演会、スタンプラリーでzoom配信に苦勞した。以前使用していたJ:COMはアクセスが集中すると止まってしまうことが分かり、NTTの回線を使用して配信をした。そのため、NTTのフレッツ光に変更し、取り替え費用やJ:COMの撤去費用を今回の補助金で賄っている。また、zoomの年会費も補助金の内訳に入れている。機器は揃っているため、さらに充実させていきたい。

イ 検討状況

- (ア) 【光明】 光明会館の部屋を借りてパソコン通信環境を整備して、データの一元化を目指している。LINEやzoomの状況も変えていけると考えている。9月末に申請を出したいと考えている。
- (イ) 【売布】 zoomやWi-Fiの設定ができる人がIT担当の2人だけのため、それ以外のメンバーに広げ、設定できる人を増やしたい。売布会館は公式LINEも含めて情報発信をしていきたいと思っている。
- (ウ) 【西山】 タブレットについて、iPadとアンドロイドのどちらにしようか迷っている。Wi-Fiを使わずに情報の共有ができるものがあればいいが、どちらが

良いか聞きたい。

(エ) (NP0センター) 個人的には、タブレットとしての完成度はiPadが高いと思う。アンドロイドは安価なものであればサポートが短かったり、新しいバージョンに対応できなくなってくる等がありうと思う。iPad自体が回線契約をして単独でインターネットに接続できるのもあるため、詳しくは個別にご相談いただければ。

(オ) 【未成】 申請書はほぼ出来上がっている。基本は活動拠点のWi-Fiをレベルアップすることで、メッシュで中継できるようにしたい。学校が避難所になるため、災害時のモニター使用も考えている。設置場所から中継器でどこまで繋がるか調べる必要があるが、インターネット環境を整備して、インターネットから安定的に情報を得ることができればよい。無線で様々な機器を繋げる環境にしようと思っている。

(2) 令和4年度まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)の中間報告の省略及び変更交付申請書の提出について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、11月末〆切で提出を求めていた中間報告は不要とするが、申請内容に変更が生じた場合は、11月末〆切で変更交付申請書の提出が必要である旨、説明があった。

(3) 地域活動のデジタル化の将来像

市民協働推進課より、配布資料に基づき、説明があった。

4 新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域活動

各まちづくり協議会より、地域活動の検討状況について、情報の共有があった。

ア 【すみれ】7月30日に予定していた盆踊りは、コロナと猛暑で秋分の日まで延期となった。

イ 【西山】PTAとともに、学年ごとに子ども達に色々なことを体験してもらうイベントを計画している。コロナの状況から丸太切りは難しく、教室を使って学年ごとにクイズを実施予定である。11月の実施に向けて準備中。

ウ 【光明】7月23日の光明まつりはコロナと猛暑で11月6日まで延期となり、もともと予定していた運動会の予定を変え、祭りでゲームを実施予定。6年生が企画していたゲームができればと思っている。

エ 【小浜】10月16日に防災訓練を実施予定。大堀川の氾濫地域である向月町を対象に小浜小学校への自動車避難の訓練をする。あとは応援スタッフとして小学校区の中を知ってもらうということも含め、避難ルートを考えている。

オ 【未成】10月29日にコロナを踏まえた避難所開設訓練を実施予定。事前受付で健常者と不健康な人に(役割を)振り分ける。ひょうご安全の日推進事業の助成金を活用する。11月20日にコミュニティフェスティバルを午前中のみ、飲食

無しで実施予定。

- カ 【宝塚第一】 防災委員会で、小学校の視聴覚室を借り、各地区の防災マップで危険個所の確認を行う。10月23日に第2回UGANまつりを実施予定。前回ほど大っぴらにはしない方向で進めている。10月1日の小学校の運動会もまち協として手伝う予定。11月にトレジャーハンターを育友会と合同で実施する。校区内を回るが、各自が自己責任で参加するというスタンスである。
- キ 【ゆずり葉】 コロナで各種イベントの規模を縮小して実施している。しかし、防災関係は力を入れるべきと考え、8月7日にワークショップを行った。各自主防災会の活動の活発さに差があることが分かったため、事例共有を行って底上げをしようとなった。11月3日に第2回を実施予定。文化祭を逆瀬台小学校で10月30日に実施予定。
- ク 【中山台】 10月22日に防災勉強会を実施予定。総合防災課と消防署出張所による講座とともにワークショップを開く予定である。各自治会の参加者は絞るが、地域内の事業所等の組織にも呼びかけ、70～80人の参加を予定している。秋祭りは、他の自治会の状況を把握していないが、五月台自治会は10月29日に飲食なし、催しなしで実施予定。子供向けにゲームやビンゴ、ハロウィンの格好をした子供にお菓子をあげる等を考えている。また、コロナの状況によってはモノを売る店舗を出すことも検討する。
- ケ 【ひばり】 9月17日に防災研修会をzoomで実施予定。10月14日～15日にスケッチ展・フォトコンテスト、10月15日にひばりまつりを小学校体育館で実施予定。11月6日に歴史講演会をzoomで実施予定。12月27日にきずきの森ワークショップとして、トロッコ列車を誘致し、400～500人を乗せるよう進めている。

5 市民協働推進課からのお知らせ

- (1) (※再周知) まちづくり協議会代表者交流会ワークショップ開催の案内(お願い)
市民協働推進課より、10月12日(水)ワークショップの参加者報告の回答は9月末〆切であることが再周知された。

6 第7次地域福祉推進計画の完成について(社会福祉協議会)

宝塚市社会福祉協議会より、配布資料に基づき、説明があったのち、意見交換が行われた。意見の概要は以下の通り。

- ア ある自治会で毎年開催している夏休み子ども学習教室について、助成金の交付が2年で止まってしまった。助成金の打ち切りは仕方ないとしても、何か他の事例等を提案してほしいと思っている。
- イ (社協) 今回の状況について調べた上で、地区担当から提案させてもらう。

7 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下 (1) ~ (2) について、依頼と周知があったのち、(2) に対して意見があった。

(1) 赤い羽根共同募金運動 街頭募金ボランティアの募集について

(2) 担い手に関する意見交換会

ア 今月のまち協の定例会は終了した。もう少し早く情報提供してほしい。

イ ポスターを見ただけでは、何の担い手か分からない。

8 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下 (1) について、周知があった。

(1) デジタル化補助金のご相談について

9 その他

以下 (1) について、質問及びそれに対する意見交換、情報共有があった。

(1) 広報紙の配布方法について

ア (質問) 各まち協で発行している広報紙について、現在は紙版のみ自治会を通じて配布しているが、加入率が低く全戸配布できていない。費用を抑えた全戸配布の手段はないか、教えてほしい。

イ 地区ごとに配布担当者を決めている (一人あたり 200 枚ほど)。年 4 回で、配布には約 1 時間かかる。

ウ 市の広報紙と併配を依頼している。費用は掛かるが、全戸に配布が可能である。

エ 併配の費用はいくらかかるか。

オ (市) 山本山手、宝小は併配を行っている。なお、基本的には、広報たからづかは併配を受けて付けていないが、まち協については特例で認められている。費用は一枚当たり数円だったかと思うが、世帯数、立地条件等を基に併配業者と相談するかたちになると思う。

カ 9,500 部を 30 自治会、30 マンションに配布している。30 人で手分けして自治会長、マンション管理組合へ配っている。7 月号はナチュラルSPA、サンビオラに 50 部配架したが、ほとんど取ってもらえず、関心を持ってもらえていないと分かった。紙は大事だが、まずは手に取ってもらえるものを作らなければいけないと思っている。ブログの活用と両立すべきと思っている。

キ 運営委員会に地域内 8 自治会のうち 7 自治会が参加しているため、持ち帰ってもらっている。

ク 紙の全戸配布はあきらめざるを得ないと思っている。自治会、マンション、ブログから配布している。末広まち協が LINE 公式アカウントで広報紙を発信していると聞いた。

ケ (末広) 3,000 部弱を子ども会の保護者がポストに投函していたが、負担が大

きいことが、LINE の活用に繋がった。発行回数も年 3 回から年 2 回に変更した。

コ ブログに掲載しているが、見てもらえていない。紙で配っているのが実態である。自治会経由で 3,000 部を 17 自治会の会長へ持っていき、配布をお願いしている。マンションをどうカバーするかは管理人へ依頼してる。小さなマンション、短期居住者が多いマンションは見てもらえているか不安がある。

10 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以 上